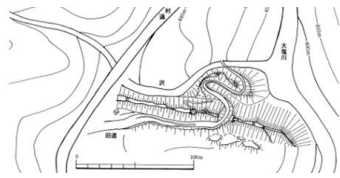


米沢街道1 大塩～中ノ七里



萱峠（かや峠）頂上にあつた茶屋跡。東側100メートルには墓があります



「鹿垣（ししがき）跡」伊達政宗の会津進攻を阻止するために、葦名氏が1585年に築いた大規模な防塁跡。長さ163メートルあります

大塩一里塚（八丁塚）片方のみ現存します

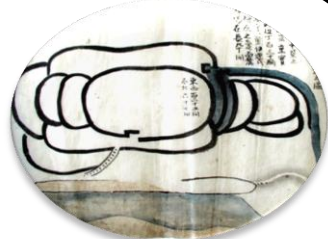
旧大塩小学校跡地。日本の協同組合発祥地は大塩。賀川豊彦「乳と蜜の流るる郷」の舞台

大塩宿検断屋敷跡

塩井跡、元は橋の北側にありました。直江兼続時代は家臣の鈴木明貞が塩役でした

米沢街道並木道に現存する最大の赤松「殿様松」樹齢400年以上です

大塩宿肝煎屋敷跡



「柏木城跡」

葦名氏が天正12年(1584)に伊達政宗の会津進攻を阻止するために築いた若松城の2倍を有する50ヘクタールの巨大な山城。石垣が随所にあり、家臣が交替で番をした「番城」。常時150騎が置かれ、三瓶氏と穴沢氏がいました



『吉田松陰の東北紀行』より
一八五二年（嘉永五）
三月二十七日（新暦五月十五日）
早々 米沢発
大塩泊 翌日若松着
※嘉永五年はペリーの率いる黒船が来航し国内が騒然となる前年。
滝沢洋子 著

大塩宿の温泉神社参道は急登する百段の石段。その登り口に道標があります。右八いなわ志ろ道 左八よねざわ道 文化八年（二八一）銘